



JAXAとの初めての連携授業 宇宙から見た地球の環境問題を考える



市教育委員会とJAXAとの宇宙教育協定に基づく初めての連携授業が、10月17日、新野中学校と富岡東中学校で行われました。授業は、「宇宙から見た地球の環境」をテーマに行われ、JAXAの原田昌朋さんが、人工衛星の観測データから、北極の氷が年々減っていることや熱帯雨林が年間20万平方キロメートルも減り続けていることが読み取れると説明。海水の温度変化などを観測する赤外線カメラを人工衛星に搭載して、地球の環境保全対策や資源保護などに役立っていることなどを紹介しました。新野中学校2年生の福島欽奈さんは、「宇宙や環境のことに心が持てました。地球温暖化が進まないよう、無駄なエネルギーを使わない生活を心掛けたいです。」と話していました。

「ママプラス」 夢ホールで初舞台 迫力ある演奏で観客を魅了



県内のママさんでつくる「ママプラス」による初めての演奏会が9月29日、夢ホールで行われました。指揮・ゲストにサクソ奏者の榮村正吾さんを迎え、市内の合唱団など総勢100人余りが出演する大舞台となりました。演奏会では、吹奏楽用にアレンジした「スダッチ・ゴー」など全7曲が披露されました。永遠の名曲「アルメニアングダンスパート1」では、ブランクを感じさせない迫力ある演奏で観客を魅了し、会場からはアンコールが沸き起こりました。参加を呼び掛けたNPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなんの新田恭子さん(47歳・長生町)は、「学生時代に戻った気分で吹奏楽を楽しめたのでは。これからも続け、文化レベルの向上につなげたいです。」と話していました。

太龍寺道に遍路道の説明看板を設置 遍路道では初めて



10月14日、水井町西の太龍寺登り口付近に、国史跡指定を受けた太龍寺周辺の遍路道を紹介した説明看板が設置されました。文化財保護法に基づき、管理団体である市が設置したもので、遍路道では初めてです。説明看板の大きさは、高さ91cm、幅120cmのプラスチック製で、国史跡指定を受けた遍路道の概要や指定を受けるまでの経緯、位置図などが紹介されています。設置作業中に通りかかった藤田涼史さん(24歳・横浜市)は、「道の特徴や地形、方角などがよくわかり参考になります。」と見入っていました。水井町総代の横井知昭さん(68歳)は、「四国初を誇りに思います。道に迷わず、古道の景観を存分に楽しんでほしいです。」と話していました。

阿南市健康ゴルフコンペで 136人が腕前を競う



秋の風薫る9月23日、阿南カントリークラブで阿南市制施行55周年を記念して「阿南市健康ゴルフコンペ」が開催されました。市内外から136人のゴルファーが参加し、日頃鍛えたゴルフの腕前を競い合い、親睦を深めました。競技はダブルペリア方式で行われ、徳島市の西原一朗さん(54歳)が見事優勝しました。表彰式で岩浅市長から優勝賞品を受け取った西原さんは、「阿南カントリークラブは10年前までよく通った思い出のあるコースで、優勝できてうれしいです。昨年、体調を崩してからは大会などに参加する機会が減っていました。これからは健康維持のためにゴルフを楽しみたいと思っています。」と、優勝の喜びを噛みしめていました。

販売期間
10/28
~1/31

阿南市発!カタツムリスイーツで 地域活性化と環境保全を図る



今年1月、阿南市水井町でカタツムリの新種「アナムシオイガイ」が発見されたことを祝い、カタツムリをモチーフにしたスイーツを販売して地域の活性化と環境保護につなげようと、市内の和洋菓子店がロールケーキとシュークリームを試作しました。企画には、「アナムシオイガイ」を発見した徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター専門研究員の松田春菜さんをはじめ、もみじや、森行朝日堂、パティスリーマリエ、つるや菓子舗、和洋生菓子・鶴家菓子舗の5店舗が参画。持ち寄った試作品を試食し、販売価格や販売期間、PR方法などについて話し合いました。商品は10月28日から3カ月間限定で販売される予定で、売上金の一部は環境保護活動に役立てられます。

榊神社秋祭で人形浄瑠璃を堪能



10月12日、山口町の榊神社秋祭で人形浄瑠璃公演が行われました。地域の人々に古くから伝わる三番叟に関心を持ってもらおうと企画され、山口座木偶頭保存会と人形遣い勘緑さん率いる「木偶舎」の皆さんが出演。趣ある境内で、阿波の伝統芸能を堪能しました。舞台は、山口座木偶頭保存会による斬新でオリジナリティーあふれる「式三番叟」でめでたく幕開けると、勘緑さんと木偶舎の皆さんが、情熱的で軽妙な人形さばきで「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」を披露し、会場から大きな拍手が送られました。勘緑さんは、詰めかけた約300人を前に、「伝統芸能の底辺拡大と人形浄瑠璃の再興に、皆さんも一緒に盛り上げていきましょう。」と呼びかけました。

市役所ってどんなところ？ 中野島小3年生が社会見学で来庁



市役所の組織や仕事内容について調べようと、9月30日、中野島小学校3年生26人が市役所を訪れ、社会見学が行われました。市の職員から、市役所の仕事や組織などについて説明を受けた後、本庁舎3階のベランダから新庁舎建設現場を見学したり、市議会本会議場で議会の運営方法を学んだりしました。児童の皆さんは、メモをとったり質問をしたりして、熱心に耳を傾けていました。市役所にはお母さんと一緒に来たことがあるという川越百々花さんは、「普段は見ることができない議場などを見学することができ、勉強になりました。議場のいすに座ったときはドキドキしました。」と笑顔で話していました。

成年層の競技人口拡大をめざす 市バレーボール協会が大会を新設



男性が気軽に参加できる大会を創設して、成年層の競技人口拡大を図ろうと、10月1日、阿南市バレーボール協会による「第1回ミックスバレーボール大会」が、スポーツ総合センターで開催されました。大会には、9チーム90人が参加。6人~9人でチームを作り、3グループに分かれて熱戦を繰り広げました。リーグ戦を勝ち抜いた3チームと、得失点差で選出された1チームの4チームで決勝トーナメントを行い、「名球会」が那賀高校卒業生でつくる「NKOJ」に競り勝って初代王座に輝きました。市バレーボール協会副会長の程野正士さん(68歳・津乃峰町)は、「好評だったので、年に3回くらい実施していきたいです。」と、意欲を見せていました。